

# 発表者と発表のテーマのご紹介

発表者のみなさんありがとうございました。提案の内容は、様々な分野におよぶものです。今後の具体的な議論の中で活用していきます。引き続きみんなで提案していきましょう！

- 岡本結花さん（鞆中学校）  
テーマ：「**私たちのリアル～鞆中学生が考える鞆の未来～**」  
伝統的な祭りや行事、美しい景色を残したい、鞆全体で交流したい、そのことに向け中学生たちも意見を出し合いたいという提案です。
- 鞆小学校4年生のみなさん（代表：浦隅秀直さん・桑田健翔さん・平田蒼空さん）  
テーマ：「**鞆人とすてきふれ合い大作戦**」  
小学生と高齢者のふれあいを通じ、笑顔や思いやり、ひとりぼっちがいないまちにしたいという提案です。
- 鞆小学校5年生のみなさん（代表：宮阪彩花さん・宮崎友結さん）  
テーマ：「**鞆へ観光 行ってみYO!!!**」  
小学生が考えた鞆の観光プランの提案です。
- 小林和浩さん（町外）  
テーマ：「**癒やしの観光で持続可能な鞆を！**  
～世界中にファンを広げて、観光産業を育てよう！～」  
空き家を再生して海外からの観光客を迎え入れることにより、雇用も創出したいという提案です。
- 鷲野太平さん（平一）  
テーマ：「**平地区に地域密着型ゲストハウスを**」  
空き家を再生したゲストハウスを設けることにより、平地区へ観光客を誘導し、災害時の避難場所にもなるという提案です。
- 大藪和美さん（祇園）  
テーマ：「**新しい住宅を建築する土地確保について**」  
空き家の片付けを地域が協力して行うなどにより、鞆に住み続けるための住居を確保しようという提案です。
- 毛利和雄さん（西町）  
テーマ：「**重伝建の選定を急げ 祭りと伝統芸能の継承**」  
重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、町並みと暮らしの両立を図りながら、祭りや伝統芸能などを継承しようという提案です。
- 羽田知世さん（道越）  
テーマ：「**ノーマライゼーションのまち**」  
祭りなどを通じて郷土愛を育み、誰もが自分らしく暮らせる福祉のまちを実現しようという提案です。
- 吉川兼子さん（西町）  
テーマ：「**鞆に住んで子育てをして**」  
歴史文化に恵まれる鞆の特性を活かしながら、空き家を活用した住居の確保により、子どもたちが住み続けられるまちにしようという提案です。
- 稲葉繁人さん（平一）  
テーマ：「**地域福祉**」  
地域の信頼関係や助け合いを大切にして、町全体がひとつの家、それぞれの住まいが部屋のようなまちにしようという提案です。
- 大宅 知さん（江之浦南）  
テーマ：「**バス代について**」  
子育てをするうえで、高校へ通学するためのバス代などの費用が負担になっているという課題提起です。
- 石橋奈都実さん（町外）  
テーマ：「**鞆を災害に強いまちに**」  
地域の繋がりを活かし、自主防災組織による実践的な防災対策を行うことにより、災害から人々やまちを守ろうという提案です。



鞆町のみなさんと「鞆まちづくりビジョン」を考える

# いい鞆ニュース Vol.3

発行：福山市 2017年（平成29年）1月

## 11/26 第3回ワークショップを開催しました



第3回鞆まちづくりワークショップ（11月26日土曜日午後1時～5時）は、鞆のみなさんが日頃の思いを発表する「住民意見発表会」という形式をとりました。鞆への熱い思いを語ってくださったのは、小学生、中学生を含む12組のみなさんで、100名あまりの参加者（福山市職員を含む）と熱心な議論を展開しました。

※発表者と発表のテーマは裏面をご覧ください

福山市では、みなさんの意見を反映した「鞆まちづくりビジョン」を策定する作業を進めています。

今後のワークショップでは、これまでに出された意見を踏まえて作成した「基本方針（案）」（中面参照）に基づく議論を行いながら、具体的なまちづくりのあり方を整理していきます。



～ これからの鞆のこと、おとなも子どもも一緒に考えましょう ～

**1/25 (水) 第4回ワークショップのご案内**  
【時間】19:30～21:30 【場所】鞆公民館2階ホール  
「基本方針（案）」について議論し、会場リアルタイムに修正していきます。

**第5回ワークショップの開催予定**

【日程】2/11（土・祝） 【時間】13:00～17:00 【場所】鞆公民館2階ホール  
第4回で議論した基本方針の方向性に基づき、テーマ別に分かれてグループで議論する予定です。  
※議論の進捗により変更となります

【お問い合わせ先】 福山市建設局都市部都市計画課（鞆まちづくり推進担当）

電話（084）928-1142（担当：岩木）



# 鞆まちづくりビジョン 基本方針 (案)

第4回ワークショップで、参加者のみなさんと議論し、会場でリアルタイムに修正していきます。

## 策定の趣旨

鞆町は、古く万葉の時代から潮待ちの港町として栄えてきました。多くの文化財や歴史的建造物から成る町並みと自然景観を有する、瀬戸内有数の景勝地です。歴史的な町並みと人々の暮らしが醸し出す癒しの風情や、四季を通じて行われる伝統的な祭事や催しは、多くの観光客をひきつけ、世界的に知られる観光地となっています。

他方、人口の減少とともに、空き家の増加や家屋の老朽化などにより、町並みは失われつつあります。また、人々が歴史と暮らしの中で守り育んできた祭事など伝統文化の継承にも影響を及ぼしています。

鞆を再生・活性化するためには、地域と行政が一体となって、町並みを保存するとともに、安心して暮らし続けていけるまちづくりをすることが必要です。また、鞆に暮らす人と鞆を訪れる人が安心して共生できるよう、暮らしと観光との調和を図らなければなりません。

福山市は、1996年(平成8年)に策定した「鞆地区まちづくりマスタープラン」を指針とし、総合的なまちづくりを推進することとしていました。その柱のひとつとしていた鞆地区道路港湾整備事業の見直しを踏まえ、改めて、鞆のみなさんと行政が協力し合って取り組むことのできる、新たなまちづくりの指針が必要となっています。

鞆地区道路港湾整備事業をめぐる意見の相違を乗り越えて、鞆のみなさんが、自分たちの子や孫の世代に思いを馳せながら、互いに共感し合える将来像を描きます。そして、誰もが安心して自分らしく暮らし活躍できるまちを、自らの手で実現していくのです。

「鞆まちづくりビジョン」とは、その実現のための具体的な地域主体の取り組みや行政からの支援、地域と行政とが協働する取り組みなどの方向性を示す、鞆の新たなまちづくりの指針として、福山市が鞆のみなさんと一緒に策定するものです。

## これまでの流れ

鞆まちづくりビジョン策定に向けたワークショップでは、子どもたちからお年寄りまでたくさんの人々が参加するワークショップを繰り返しながら、鞆のみなさんと行政がひとつになってまちづくりを実現するにはどうしたらよいかという議論を行っています。

これまで3回のワークショップでは、たくさんの意見と建設的な提案がありました。それらの意見が共通してめざしていると考えられる方向をまとめたものが、この基本方針(案)です。また、多くの提案を項目ごとにまとめたものが右の「基本的な考え方」です。この「基本的な考え方」に基づき今後のワークショップでの話し合いを行います。



## 基本的な考え方

### 1 安心・安全に暮らし続ける環境づくり

- (1) 地域と行政との協働により、子どもから高齢者まで安心して生き生きと暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。
- (2) 子育てしやすいまちづくりを通じ、将来の鞆を担う子どもを育みます。
- (3) 空き家対策や雇用の創出、日常の買い物など、生活圏としての鞆の活性化を図ります。
- (4) 災害時にも、住民同士の助け合いを大切にするとともに、避難場所や緊急車両の通行の確保、地域による自主防災体制の強化を含めた防災・減災対策を行います。

### 2 伝統・文化を受け継ぐ

- (1) 高い歴史的・文化的価値の認識を共有し、町並みの保全をはじめとした文化財の保全・活用を図ります。
- (2) 鞆の歴史・文化の発信拠点を形成するとともに、重要伝統的建造物群保存地区の早期選定をめざします。
- (3) 住民同士を繋ぐ伝統行事である祭りの継承に努めます。

### 3 出会い・ふれあい・支えあい

- (1) 地域の繋がりを活かし、子どもからお年寄りまで、誰もが自分らしく活躍できるまちづくりを進めます。
- (2) 鞆に暮らす人と鞆を訪れる人が安心して共生できるよう、生活圏と観光のまちとの調和を図ります。

### 4 まちづくりの体制

- (1) 子どもたちからお年寄りまで各世代が連携したまちづくりを進めます。
- (2) 鞆まちづくりビジョン実現のための体制や役割を明確にし、短期的な取り組みと中長期的な取り組みを計画的に行います。

### 5 実現を下支えする行政の対応

- (1) 人と車が安全に安心して通れる交通システムを構築します。
- (2) 良好な保育・教育環境の形成や、地域活動拠点の整備、遊休公共施設の活用などを通じ、まちづくりの仕組みづくりを支援します。
- (3) 土砂・高潮災害への備えや、防災体制の維持・強化など、行政が行うべき防災対策を計画的に行います。